

令和4年度 事業報告書

I はじめに

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況の改善傾向に伴う各種行動制限の緩和等により、社会経済活動には一定の回復の動きが見受けられました。しかし、一方でロシア・ウクライナ情勢を起因とした、エネルギー・原材料価格の高騰、為替相場の急激な円安進行による物価上昇など、不安定な経済状況が長期化し、先行きが不透明なまま推移する年度となりました。

我々事業団にとりましては、「WITH コロナ」の経済活動方針が採られたことにより、時短営業や定員抑制など事業に直接影響が及ぶような制限の発出はなく、懸念された11箇月に及ぶテルサホールの天井耐震改修工事の影響による会議室利用等の減少を最小限に留められた事で、当初の収入目標をほぼ達成することが出来ました。

しかしながら、深刻だったのは、我々の経営基盤を大きく揺るがすような、まさに事業団存続の危機とも言える、未曾有の光熱費高騰でした。施設活用団体選考時には到底想像することの出来なかった急激な光熱費の上昇は、もはや災害レベルと言え、節電や省エネ対策では到底賄うことが出来ず、経営努力で対応出来る限界を大幅に超える状況が続き、京都府と協議を重ね、手厚い補助をいただく事で何とか決算に至りました。また、光熱費高騰は収束が全く見通せないことから、京都府と慎重に調整を進め、令和5年4月以降の新規申し込みに係る貸館料金の見直しを行うこととし、ご利用者の皆様に御理解いただけるようホームページ等でお知らせを行ったところです。

部門別に見てまいりますと、貸館部門では前出のとおり「WITH コロナ」施策により利用者マインドが瀬調に回復し、テルサホールを含めた全館利用が出来ない中、想定した収入をほぼ達成するに至りました。また、年度後半には予定していたWEBによるオンライン予約も開始することが出来、効率性・利便性が大幅に向上いたしました。全館を利用したスケールメリットを活かしたご利用から、簡単な手続きで気軽にお使いいただけるご利用まで、幅広いラインナップが出揃ったことで次年度以降、さらなる利用拡大を目指します。

施設管理部門につきましては、全館で劣化・老朽化が一層深刻化し、特に令和4年度に入り、水回りのトラブルが目立ち、雨漏り、配管からの漏水が頻繁に発生することとなりました。また、金属疲労による劣化が進み、プールの天井部品の落下により営業を停止して緊急対応するという事例が発生するなど、施設運営に大きな影響を与える段階に入りつつあります。施設の老朽化に対する対応については京都府と相談、協議を更に進める必要性が高まっています。

危機管理面におきましては、行動制限が緩和された事により、予定していた防災訓練を2年ぶりに全て実施することが叶いました。また、自衛組織本部が置かれる京都テルサでは緊急連絡用にビジネスチャットツールを試験的に導入し模擬訓練を行ったほか、休館日を利用した停電状態の施設巡回、防災の専門家を招聘した危機管理研修等を実施する等、重大な危機状況の発生を想定したBCP計画（事業継続計画）に繋がる取組みを進めました。

レストラン事業部門では、休店となっていた東館1階「レストラン朱雀」について二度にわたるプロポーザル方式の公募を行った結果、運営業者が西館1階の「カフェラウンジ凜」と同一の業者に決定し、店舗は内装を一掃し「うどんダイニング凜」として令和5年度から生まれ変わることとなりました。「カフェラウンジ凜」と運営業者が同一となった事で、テルサの飲食部門の統合が図られ、貸館と連動した大規模な宴会、ケータリングまで一元的にご提供させていただける体制が整いました。

地下駐車場については、テルサホールが天井改修工事により11箇月の長期休館になった事で利用者が減少し、予想通り厳しい展開となりましたが、テルサホールの再開に伴い今後は需要拡大を期待するところです。屋外バス駐車場については、ホール天井改修のための資材、工事車両等の利用スペースが予定より少規模で済んだことから駐車台数を増やすことができ、観光需要の回復ともあいまって利用を伸ばすことが出来ました。また年度の終わりにはインターネットからのWEB予約体制が整ったことで予約数は順調に推移することが期待できます。

フィットネス事業では、新型コロナウイルスの影響も薄れ、臨時休業や「時短営業」はなくなり、感染予防対策を継続しつつも、各エリアやレッスンプログラム等における定数の制限等を徐々に緩和し、年度末の3月にはようやくマスク着用が個人の判断に委ねられるようになりました。

前年からの“ニューノーマル”な外出自粛ムードはやや変化し、体力低下による健康2次被害を予防するための健康維持・増進の風潮に沿ってフィットネス利用者の新規開拓や、さらなる利用の継続を推し進めました。

感染拡大防止対策として、マスクの着用、食事機会の制限に加えて、運動エリアやロッカーエリアでの会話禁止などを、FIAのガイドラインの変更（緩和も含め）等に沿って継続的に実施する一方、第4期指定管理初年度として、事業計画書に掲げた「アクセプト・ダイバーシティ」に沿って、各種改善や改革にチャレンジしました。

今年度新たに導入したクラウド型会員管理システムにおいては、チェックインアウト処理や、教室プログラムのWEB予約等が簡素化されただけでなく、会費請求管理等の効率性も向上し、会員へのサービス向上にも繋がり、SNSを活用したご案内やお知らせについては、緊急連絡やクラブ情報が利用者のお手元へ、スムーズにお届けできるようになりました。

さらに、10月には従来の会費制度である「月会費+利用料制度」を大きく改変し、新規の登録は全て利用料を含む新たな会費制度に変更しました。これにより、利用料を都度支払う従来の来場処理は大幅に簡素化され、会員からも一定のご支持をいただき、利用料収入も安定しました。

さらに、コロナ禍での「ダメージ回復策」として、対象を成人だけでなくジュニアに向け、スクール事業を拡充したことにより、ジュニアスクールとして登録会員数は100名、スクール全体の会員数は170名に達しました。定休日に開校したスイミングスクールも本格的に展開し、さらに幅広い年齢層が利用できるクラブを目指します。

最後に、令和4年度から移管されたスポーツホール管理事業については、より多くの利用者にご利用いただけるよう、11月に利用時間区分を細分化しました。さらに令和5年度4月からの料金改定についても事前告知を行いました。引き続き高い利用率を継続しており、堅調に推移しております。スクール事業とも連携しながら、設置目的に沿って幅広い利用を進めたいと考えています。

京都府男女共同参画センター（らら京都）でも、withコロナに向かい通常の生活が戻りつつあるなかで、交流コーナー等一時使用部屋の利用の回復など徐々に賑わいが戻ってきました。引き続き、感染防止対策の徹底やオンラインの活用などにより、影響を最小限にして事業を実施するとともに、新しい事業にも取り組みました。KYOのあけぼのフェスティバルについても、感染防止に留意しつつ、ワークショップやバザールなどコロナ以前の内容で開催し、多くの方に参加いただき、大変好評を得ることが出来ました。また、外出自粛や在宅ワーク等による家事、子育て等の家庭責任の増加や生活不安等新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた女性に対する支援を強化するため、相談員を増員するとともに相談時間を延長するなど一人ひとりに寄り添った丁寧な相談事業の強化に取り組みました。

II 令和4年度の事業概観

1 実施事業

勤労者、女性をはじめとする府民の福祉増進に寄与するために、定款第4条に定める次の事業を実施しました。

- (1) 勤労者の福祉及び就業支援、男女共同参画の推進、学術、文化及びスポーツの振興、健康増進及び府民総合交流活動に関する事業
- (2) 京都府民総合交流プラザの管理運営
- (3) 京都勤労者総合福祉センターの管理運営
- (4) 京都府男女共同参画センターの管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 事業団運営事項等の協議、確認及び決定

(1) 評議員会の開催

最高決議機関である評議員会を次のとおり開催しました。

開催数次	開催の概要
みなし決議	決議があったものとみなされた日：令和4年6月9日 決議があったものとみなされた事項：評議員選任の件
第8回 評議員会	日時 令和4年6月27日（月）午前9時57分から午前11時25分まで 場所 京都テルサ 東館3階 大会議室 議案 ① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度収支決算について 結果 以上の2議案とも原案どおり承認可決
みなし決議	決議があったものとみなされた日：令和4年8月18日 決議があったものとみなされた事項：理事選任の件
みなし決議	決議があったものとみなされた日：令和5年2月8日 決議があったものとみなされた事項：評議員選任の件、監事選任の件

(2) 理事会等の開催

業務執行機関である理事会等を次のとおり開催しました。

開催数次	開催の概要
第25回 理事会	<p>日 時 令和4年6月3日（金）午後3時から午後4時22分まで</p> <p>場 所 京都テルサ 西館3階 第2会議室</p> <p>議 案 ① 令和3年度事業報告について ② 令和3年度収支決算について ③ 一般財団法人京都府民総合交流事業団第8回評議員会の開催について</p> <p>結 果 以上の3議案とも原案どおり承認可決</p>
みなし決議	<p>決議があったものとみなされた日：令和4年8月31日</p> <p>決議があったものとみなされた事項：理事長選定の件</p>
第26回 理事会	<p>日 時 令和4年11月7日（月） 午前10時5分から午前11時35分まで</p> <p>場 所 京都テルサ 西館3階 第2会議室</p> <p>報 告 ① 令和4年度利用件数・利用人員について ② 令和4年度上半期及び年度見込みについて ③ 令和4年度事業計画進捗状況について</p>
第27回 理事会	<p>日 時 令和5年3月24日（金） 午後2時58分から午後4時40分まで</p> <p>場 所 京都テルサ 東館2階 中会議室</p> <p>議 案 ① 令和5年度事業計画について ② 令和5年度収支予算について ③ 令和4年度収支補正予算について ④ 役員賠償責任保険の加入について</p> <p>結 果 以上の4議案とも原案どおり承認可決</p>

3 令和4年度収支決算の概要

(1) 京都テルサ

① 収 益

《第2表》の1運営状況及び収入において、京都テルサの総収入から京都府補助金等を除いた、本来の事業収益合計（表の⑦）は、令和3年度の3億5,604万円に対し、令和4年度は3億6,184万円となり、580万円の微増となりました。主な要因として、天井改修工事によりテルサホールがほぼ1年間使用できないことによる大幅な減収の一方で、順調に回復した会議室の利用が3,219万円、また事務所賃貸事業で819万円、フィットネス事業で1,236万円の増収となったことが上げられます。

また、光熱水費高騰に伴う補填金等を含め運営費補助金として1億9,366万円、その他補助金等で22万円を交付していただきました。その他に事業復活支援金等で165万円の交付を受けています。

② 費 用

一方、事業費及び管理費の合計である経常費用（《第2表》2支出及び収支差の⑫）は、令和3年度の4億4,007万円に対し、令和4年度は、5億2,281万円となり、約8,274万円の大幅な増加となりました。

主たる管理経費の増減は《第3表》のとおりですが、令和4年度は燃料価格の高騰による影響に加え、水道維持管理負担金の減免措置も終了し、光熱水費が前年度より5,573万円と大きく増加しました。修繕費では令和3年度は2,000万円執行留保していましたが、令和4年度は建物の老朽化による漏水対応工事や、休店していましたレストラン朱雀の新規開店に向けて内装工事を行うなど、2,889万円増加しました。委託費では最低賃金が引き上げられたことによる人件費の増加などにより、契約金額も増加することとなりました。また、京都府男女共同参画センターと京都テルサ保育園の赤字補填として、他会計へ617万円を繰り出しています。

③ 当期正味財産増減額（当期損益）

一般会計（事務局・テルサ会計）の当期利益は、上記①及び②により、令和3年度の473万円に対して令和4年度は約2,661万円となりました。

《第1表》 府補助金の推移

（単位：千円）

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	増 減
事業団運営費補助金	10,000	10,000	7,000	10,000	193,664	183,664
その他補助金						
（会議室転用）	1,653	1,653	2,997	3,117	0	△3,117
（水道施設維持負担金）	0	0	689	1,390	0	△1,390
（キャッシュレス決済導入）	0	0	434	230	219	△11
（会議室減収補填）	0	15,593	114,654	86,701	0	△86,701
男女共同参画センター補助金	38,177	38,238	38,348	38,344	38,177	△167

（2）京都府男女共同参画センター

男女共同参画センター会計は、特別会計1（男女共同参画センター会計）と特別会計2（保育所会計）に分かれ、特別会計1は、京都府の補助金3,817万円、委託費854万円を主な財源として事業を執行し、原則、収支均衡を図る予算運営を行っています。

特別会計2（保育所会計）は、京都テルサ内での「事業所内保育」事業に係るものですが、年度初めから休園しており、収入の内閣府助成金の170万円については、前年度の2月、3月分であり、支出の管理費については保育園担当者の人件費等となります。このため、一般会計からの繰入金金が506万円となっています。

《第2表》 京都テルサの運営と令和4年度決算の概要

1 運営状況及び収入

事 項			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	
			単位	決 算	決 算	決 算	決 算	当初計画	決 算	予 算
貸 館 事 業	テルサ ホール	利用件数	件	303	286	121	185	15	19	
		利用料等収益	千円	61,923	59,183	22,951	35,128	2,000	4,577	48,500
	会議室	利用件数	件	8,629	7,523	4,550	4,228	7,100	6,028	
		利用料等収益	千円	119,152	110,619	65,392	62,255	96,000	94,447	103,400
	スポーツ ホール	利用件数	件	1,695	1,562	1,383	1,354	—	—	—
		利用料等収益	千円	10,367	9,917	8,762	8,407	0	0	0
	その他	手数料等収益	千円	14,368	11,752	5,881	14,455	5,000	6,721	10,000
	収 益 計 ①		千円	205,810	191,472	102,987	120,245	103,000	105,745	161,900
フ ィ ツ ト ネ ス 事 業	会員数	個人会員	人	2,502	2,109	1,721	1,818	1,900	1,871	1,950
		法人会員	口	17	15	13	11	13	11	12
	クラブ利用人数		人	240,584	229,868	166,549	177,244	192,000	193,430	194,000
	事業団	営業料	千円	27,052	26,627	17,122	18,956	24,700	21,396	26,590
		共益費・その他	千円	59,891	59,346	54,035	57,575	67,500	67,493	68,500
	収 益 計 ②		千円	86,943	85,973	71,157	76,531	92,200	88,889	95,090
自主事業企画事業収益 ③		千円	532	440	40	49	50	75	1,280	
事務所等賃貸事業収益 ④		千円	129,523	125,297	124,517	124,674	129,772	132,866	135,079	
レストラン事業収益 ⑤		千円	17,886	15,267	3,987	2,322	2,822	3,194	9,490	
駐車場事業収益 ⑥		千円	54,825	53,781	27,949	32,214	24,056	31,070	39,590	
事業収益合計 (①～⑥) ⑦		千円	495,520	472,230	330,637	356,035	351,900	361,839	442,429	
事業外収益⑧	運営費補助金	千円	10,000	10,000	7,000	10,000	119,062	193,664	161,248	
	その他府補助金 ※1	千円	1,653	17,246	118,774	91,438	0	219	0	
	基本財産運用益 ・雑収益他 ※2	千円	948	9,401	8,985	1,417	181	1,992	191	
総 収 益 (⑦+⑧) ⑨		千円	508,121	508,877	465,397	458,890	471,143	557,714	603,868	

※1 平成30年度：会議室転用補助金 (1,653千円)
 令和元年度：会議室転用補助金 (1,653千円)
 新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対する負担金 (15,593千円)
 令和2年度：会議室転用補助金 (2,997千円)、水道施設維持負担金補助 (689千円)、
 キャッシュレス決済導入推進補助金 (434千円)
 新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対する負担金 (114,654千円)
 令和3年度：会議室転用補助金 (3,117千円)、水道施設維持負担金補助 (1,390千円)、
 キャッシュレス決済 (230千円)
 新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対する負担金 (86,701千円)
 令和4年度：キャッシュレス決済 (219千円)
 ※2 令和元年度：過年度貸館事業手数料を含む (8,520千円)
 令和2年度：持続化給付金等を含む (8,113千円)
 令和3年度：雇用調整助成金等を含む (859千円)
 令和4年度：事業復活支援金 (1,500千円)、京都市中小企業等総合支援補助金 (100千円)
 中小企業等物価高騰対策支援金 (50千円)、事故解決金 (138千円)

2 支出及び収支差

事 項		単位	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度		5年度
			決 算	決 算	決 算	決 算	当初計画	決 算	予 算
事業費	貸館事業費	千円	49,896	49,230	38,986	29,986	20,145	19,231	46,694
	自主企画事業費	千円	1,497	1,784	407	404	510	353	1,929
	計 ⑩	千円	51,393	51,014	39,393	30,390	20,655	19,584	48,623
管理費	人件費	千円	99,180	105,918	103,587	109,023	111,514	109,623	114,224
	光熱水費	千円	124,208	120,567	95,344	114,099	118,000	169,833	217,913
	委託費	千円	118,936	121,564	128,751	116,167	121,440	123,045	122,812
	修繕費	千円	51,985	50,648	38,925	39,539	59,000	67,656	57,000
	租税公課	千円	15,592	17,901	16,360	17,038	16,500	15,555	16,825
	その他管理費	千円	20,474	19,954	18,576	13,813	17,508	17,509	19,298
	計 ⑪	千円	430,375	436,553	401,542	409,679	443,962	503,221	548,072
経常費用合計 ⑩+⑪ ⑫		千円	481,768	487,567	440,935	440,069	464,617	522,805	596,695
事業費増減額 ⑦-⑫		千円	13,752	△15,337	△110,298	△84,034	△112,717	△160,966	△154,266
事業外支出⑬	他会計繰出金	千円	10,170	15,232	13,164	14,089	6,526	6,173	7,173
	損失補填金・除却損	千円	0	1,564	9,850	0	0	2,131	0
総費用 ⑫+⑬ ⑭		千円	491,938	504,363	463,949	454,158	471,143	531,109	603,868
当期正味財産増減額 ⑨-⑭		千円	16,183	4,514	1,447	4,732	0	26,605	0

収支計算書 作成上の 諸項目 ⑮	特別会計つなぎ資金 (返済)	千円	9,609	3,300	2,703	0	11,319	7,000	0
	有価証券償還	千円	0	0	10,022	20,000	0	0	0
収支計算書 作成上の 諸項目 ⑯	特別会計つなぎ資金 (貸付)	千円	0	1,339	1,364	8,910	2,365	2,729	0
	固定資産取得費	千円	4,926	5,653	1,436	402	12,000	10,803	9,000
	減価償却・引当・損失	千円	△7,118	△8,045	△6,816	△6,749	△6,179	△6,144	△8,831
	予備費	千円	0	0	0	0	1,000	0	0
収支計算書 総収入 ⑨+⑮ ⑰		千円	517,730	512,177	478,122	478,890	482,462	564,714	603,868
収支計算書 総支出 ⑭+⑯ ⑱		千円	489,745	503,310	459,934	456,721	480,329	538,497	604,037
収支計算書 当期収支差額 ⑰-⑱		千円	27,985	8,867	18,188	22,169	2,133	26,217	△169

《第3表》 令和4年度の主たる経費

(単位：千円)

費目		3年度	4年度	増減額	備考
管 理 費	人件費	109,023	109,623	600	・住居手当、通勤手当支給1名増加 ・理事長報酬10%削減 ・管理職手当10%削減
	通常修繕 (主なもの)	39,539	67,656	28,117	・レストランホール内装等補修工事 3,700 ・G階段漏水に係る補修工事 2,970 ・テルサホール監視カメラ更新工事 2,497 ・空調用制御機器更新工事 2,497
	(参考) 事業費中の修繕費を含む	(40,384)	(69,272)	(28,888)	・消防設備不備箇所改修工事 2,464 他 125 件
	光熱水費	114,099	169,833	55,734	・電気代の増加 36,208 ・ガス代の増加 18,747
	委託費	116,167	123,045	6,878	・警備費増加 2,448 ・設備費増加 1,815 ・清掃費増加 1,560
	租税公課	17,038	15,555	△1,483	・消費税 △132 ・事業所税 △1,155
固定資産等の取得	402	10,803	10,401	・液晶プロジェクター購入 1,184 ・朱雀内照明増設 2,415 ・貸館ネット予約システム 3,960	

《第4表》 男女共同参画センターの運営と4年度決算の概要

1 運営状況及び収入・支出

事 項		単位	30年度 決 算	元年度 決 算	2年度 決 算	3年度 決 算	4年度		5年度 予 算		
							当初計画	決算			
事業	相 談	女性相談	件	867	1,122	942	2,243	4,200	3,373	4,200	
		労働相談	件	1,379	1,211	1,360	1,456		875		
		専門相談	件	182	182	146	170	150	192	190	
		女性の起業・経営相談	件	66	49	49	52	66	52	66	
	学習研 修講座	講座数	講座	341	294	259	289	350	326	500	
		参加者数	人	11,191	11,360	6,326	6,164	10,000	7,559	15,000	
	交流 支援	登録団体	団体	96	95	86	85	95	79	93	
		ワーキングルーム使用	件	372	331	203	184	360	360	410	
収 入	自主企画事業収入		千円	768	768	929	748	900	859	1,000	
	事務機等使用料		千円	932	1,082	576	664	900	174	1,000	
		府受託事業収入		千円	2,750	3,250	2,107	8,011	7,700	8,547	6,721
			府委託費	千円	2,750	3,250	2,107	8,011	7,700	8,547	6,721
	府補助金収入		千円	38,177	38,238	38,348	38,334	38,177	38,177	38,177	
	その他収入・他会計繰入金収入		千円	755	8,178	9,307	1,524	1,930	1,733	987	
	収入合計		千円	43,382	51,516	51,267	49,281	49,607	49,490	47,885	
支 出	自主企画事業費		千円	1,024	1,248	1,391	1,907	1,702	1,503	1,500	
	府受託事業費		千円	2,750	3,250	2,107	8,011	7,700	8,547	6,721	
	管理費	職員人件費	千円	27,859	39,245	38,815	31,290	32,086	32,006	31,909	
		嘱託報酬	千円	6,952	4,343	5,021	5,093	5,253	4,836	4,997	
		負担金	千円	33	40	33	33	40	33	40	
		その他経費	千円	4,764	4,115	3,492	2,947	2,826	2,565	2,718	
		計	千円	39,608	47,743	47,361	39,363	40,205	39,440	39,664	
支出合計		千円	43,382	52,241	50,859	49,281	49,607	49,490	47,885		
正味財産増減額		千円	0	△725	408	0	0	0	0		

《第5表》 テルサ保育園に係る4年度決算の概要

1 運営状況及び収入・支出

事 項	単位	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度		5年度
		決 算	決 算	決 算	決 算	当初計画	決算	予算
利用者数	人	92	110	106	49	0	0	0
内閣府助成金	千円	17,543	17,231	21,481	12,782	2,065	1,703	0
保育料	千円	3,280	2,966	2,311	1,499	0	0	0
その他収入・他会計繰入金収入	千円	9,658	7,528	4,357	13,201	4,746	5,067	6,336
収入合計	千円	30,481	27,725	28,149	27,482	6,811	6,770	6,336
保育所整備費	千円	0	0	0	0	0	0	0
保育所運営費	千円	21,283	20,751	20,900	20,504	0	0	0
管理費	千円	9,198	6,974	7,249	6,978	6,811	6,770	6,336
支出合計	千円	30,481	27,725	28,149	27,482	6,811	6,770	6,336
当期収支増減額	千円	0	0	0	0	0	0	0

Ⅲ 令和4年度事業の状況報告

1 事業団の経営姿勢

(1) 基本理念と行動指針にもとづく経営

京都テルサ・クレド（「基本理念」と「行動指針」）のより深い理解のため、毎朝朝礼を実施し、日々の業務に取り入れています。また、よりよい仕事を続けるため「職員の心構え」を提唱し、職員のひとりひとりが施設の運営に真摯に取り組んでいくように努めています。

(2) ジョブパーク等の就労支援事業との連携活動

テルサには、京都ジョブパーク、マザーズジョブカフェなど、勤労者のための施設が多く設置されており、事業団はその円滑な運営を図るため、広報・案内、安全確保等の各種サポートを実施してきました。季刊誌では京都ウィメンズベース、ヤングケアラー総合支援センターなど新規テナント関連の特集を組み、フィットネスクラブのジュニアクラブ（キッズスクール）のプログラムなどの広報も行いました。

(3) 男女共同参画の推進

京都府における男女共同参画の推進拠点として、女性が抱えている悩みや様々な問題に対する総合的な相談体制を整えるとともに、起業支援、再就職支援などの女性活躍支援事業を実施するなど、一人ひとりに寄り添った丁寧な事業の実施に努めました。また、各地域における防災施策に男女共同参画の視点を浸透させるため、令和3年度に府市連携で作成した「きょうとみんなの防災カード」を使ったワークショップを府広域振興局毎に開催しました。なお、「きょうとみんなの防災カード」については、府内男女共同参画センターが連携・協力して作成したことなどが評価され、全国女性会館協議会事業企画大賞奨励賞を受賞しました。

(4) 事業所内保育所

国が待機児童解消を目的として助成する企業主導型保育園である「京都テルサ保育園」は、周辺認可保育園の定員拡大等が影響し、入園希望がなかったため、年度初めから休園しています。

(5) 府民の健康づくりに寄与するフィットネス事業

クラブ会員だけではなく、施設を活用して専門学校の授業指導を行ったほか、府内各地の老人福祉センターなどへ出向き、府民の健康づくり、メタボリックの予防・改善、高齢者の介護予防に寄与する事業を各種実施しました。

(6) 安心・安全のための取組

新型コロナウイルスの感染拡大の抑止策を継続して実施しました。防災訓練については感染防止対策を徹底したうえで、総合防災訓練、火災訓練及び防災見学ツアーを実施しました。

(7) 管理・運営能力向上の取組

施設の管理能力・運営能力の維持向上の取り組みとして、個々のスキルアップを図るための様々な研修に参加するようにしています。また、令和4年度は、大学教員と危機管理担当職員を講師として、「防災」をテーマに全体研修を実施しました。

令和4年度に職員が受けた主な研修は以下のとおりです。

- ・京都商工会議所ビジネススクール
 - 若手社員に必要な「5つの力」を徹底強化
 - 若手女性社員のための仕事力向上セミナー
 - 中堅社員のためのリーダーシップ&チームワーク研修
 - 次世代リーダーに求められる意識改革と行動変革
 - 仕事がかどるビジネスマナーとコミュニケーション
 - 価値観が多様化する時代のクレーム対応研修
 - ゼロから学ぶ「契約」の基本
 - 経理に活かせる！税務調査のポイント
- ・illustrator 基本講座、illustrator 実践講座
- ・SNS 運用担当者養成講座
- ・会計セミナー「入門編」・「基礎編」・「実務編」・「決算編」
- ・人権問題職場研修
 - 「『誰か』のことじゃない。部落差別（同和問題）編」
 - 「コロナ禍における子どもたちへの支援」
- ・全体研修
 - 「災害対応を考える」（講師：名古屋大学 平山 修久氏）
 - 「帰宅困難者 一時滞在施設について」（テルサ危機管理担当職員）
 - 館内ウォークラリー（消防設備箇所等確認）

2 京都テルサの管理・運営

(1) 貸館事業

令和4年度の貸館事業は、コロナ禍とテルサホール天井改修という大きな2つの懸念事項を抱えた中で始まりました。コロナ禍については、WITH コロナの浸透により休館となる事態には至らず、利用取消は一定量発生しましたが、過去2年間と比較するとその影響は大きく減少しました。テルサホールが天井改修工事により使用できないため、従来貸館事業を牽引してきた全館利用学会等の大規模催事開催は0件でしたが、会議室リピーター利用の復活とコロナ禍によって流動性が高まった中で実施した会議室専用ポータルサイト（会議室ドットコム）への情報掲載効果等による新規利用の増加もあり、概ね予算目標を達成することができました。

令和4年度は会議室のインターネット予約を導入しました。利用者の利便性の向上、利用者の囲い込みによる売上確保、業務効率化を目的としており、1月からの稼働となりましたが、その効果が少しずつ現れております。また、厳しい予算状況ではありましたが、コロナ禍では実施を見送っていた利用者満足度向上を図るための施設の美観、機能維持を目的とした修繕、備品更新も実施することができました。

【休館日数、取消売上金額】

	休館日数	取消売上金額		
		テルサホール	会議室	合計
4年度	0	0円	12,389千円	12,389千円
3年度	79	32,045千円	42,157千円	74,202千円
2年度	37	45,087千円	56,928千円	102,015千円

【全館利用学会等の推移】

年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
利用日数	51	46	10	2	0

① 令和4年度特記実施事項

ア. コロナ禍対策

安全利用対策

- ・ 消毒セット、体温計、CO2濃度計の無料貸出し
- ・ 飛沫防止パネル無料貸出し
- ・ サーモグラフィーカメラ無料貸出し
- ・ マスク等消耗品販売

Web利用促進

ZOOM等対応のための音声入出力ライン提供

レイアウト提案の強化

コロナ禍対応のレイアウト案をホームページに掲載

ひとり会議室プラン販売

令和4年度利用実績：32件 売上合計 73,990円

※ 令和3年度実績：22件 売上合計 41,200円

イ. 会議室インターネット予約の導入

令和5年1月から導入

[令和5年3月末時点での運用状況]

ID登録者数：89団体

インターネット予約件数：38件

インターネット予約率：7%

ウ. SNSを活用した集客対策の拡充

8月からInstagram、7月からTwitterの運用を開始

[運用状況]

Twitter 年間ツイート数183回(月平均20.3回)、フォロワー数69名

Instagram 年間投稿数31回(月平均3.9回)、フォロワー数101名

オ. ホームページを活用した集客の強化

情報量増加

各部屋の紹介動画を撮影し、YouTubeにて紹介

作成動画数：30本

会議室専用ポータルサイト会議室ドットコムへの情報掲載(6月から)

会議室ドットコムサイト内テルサページ表示回数：1499回

会議室ドットコムサイトからテルサホームページの流入数：298回

【年間ホームページ来訪者数の推移】

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
総閲覧数	463,103	420,938	267,145	325,626	324,602
会議室P閲覧数	39,285	34,976	24,829	25,192	32,734

【SEO対策状況】「京都 会議室」検索順位

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
検索順位	10~20	9~16	8~12	4~10	5~11

カ. 美観、機能維持のための修繕、備品更新の実施

[実施事項]

- ・第3、4会議室イス生地張替、ブラインド更新
- ・第3、4、8、10会議室壁面白板設置
- ・第9会議室机、椅子更新
- ・大会議室壁クロス貼替
- ・視聴覚研修室、第9会議室扉シート貼り
- ・中会議室、研修室天吊りプロジェクター更新
- ・会議室プロジェクター更新

② テルサホール

天井改修のため運用は4月のみとなり、件数19件、収入額は4,577千円となりました。

③ 会議室

件数は6,028件（前年比142.6%、1,800件の増加）、売上は9,444万円（前年比151.7%、3,219万円の増加）となり、大きく増加しました。

コロナ禍前で学会等全館利用催事が多く開催された平成30年度と比較しても、約80%の売上となりました。

[会議室利用内容、種別売上比較 ※雑収入を除く]

		売上額（千円）			R4との差額（千円）		比率	
		R4年度	R3年度	H30年度	R4-R3	R4-H30	R4/R3	R4/H30
介護研修系催事		4,021	3,108	10,691	913	▲ 6,670	129%	38%
全館学会系催事		0	623	22,728	▲ 623	▲ 22,728	0%	0%
ジョブパーク関連		7,581	8,844	13,631	▲ 1,263	▲ 6,050	86%	56%
テナント関連		2,077	1,605	1,323	472	754	129%	157%
一般 リピーター	企業	26,201	16,603	26,565	9,598	▲ 364	158%	99%
	団体	35,961	21,680	29,493	14,281	6,468	166%	122%
	労働団体	2,277	941	1,259	1,336	1,018	242%	181%
	小計	64,439	39,224	57,317	25,215	7,122	164%	112%
一般 新規	企業	8,240	3,933	4,683	4,307	3,557	210%	176%
	団体	4,921	3,343	5,229	1,578	▲ 308	147%	94%
	労働団体	611	98	117	513	494	623%	522%
	小計	13,772	7,374	10,029	6,398	3,743	187%	137%
合計		91,890	60,778	115,719	31,112	▲ 23,829	151%	79%

④ スポーツホール

利用区分を従来の3区分（午前、午後、夜間）から4区分（午前、午後①、午後②、夜間）に変更したことで、利用件数で約1.5倍、利用者で約2倍になるなど大きく増加しました。

《第6表の1》 テルサ貸館事業（テルサホール、会議室（事業団管理））の推移

事 項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年度 比%	
テルサ ホール	利用件数(1日1件)	件	303	286	121	185	19	10.3
	利用人数	人	134,279	142,959	17,297	34,746	8,557	24.6
	利用率（1日1件）	%	88.9	82.2	35.2	53.8	5.3	-48.5P
	利用料収入	千円	61,923	59,183	22,951	35,128	4,577	13.0
	当初予算	千円	66,212	66,825	66,825	49,800	2,000	—
会 議 室	利用件数	件	8,629	7,523	4,550	4,228	6,028	142.6
	利用人数	人	236,240	217,027	78,147	123,637	181,023	146.4
	利用率	%	52.0	45.8	29.3	27.1	39.6	+12.5P
	利用料収入	千円	119,152	110,619	65,392	62,255	94,447	151.7
	当初予算	千円	123,588	124,732	128,326	98,200	96,000	—
合 計	利用料収入	千円	181,075	169,802	88,343	97,383	99,024	101.7
	当初予算	千円	189,800	191,557	195,151	148,000	98,000	—

《第6表の2》 テルサ貸館事業（スポーツホール（NLC管理））の推移

事 項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年度 比%	
ス ポ ー ツ ホ ール	利用件数	件	1,695	1,562	1,383	1,354	2,010	148.4
	利用人数	人	35,595	32,802	30,183	28,433	58,968	207.4
	利用率	%	85.1	79.3	69.3	67.2	88.6	+21.4P
	利用料収入	千円	10,367	9,917	8,762	8,407	11,570	137.6

（2） 自主事業及び後援・共催事業

ア. 自主事業

令和4年度は大勢が集う対面型自主事業は、感染症拡大防止のため中止しました。

手話教室においては、受講者全員がマウスシールドを着用し、座席間隔を十分取ったうえで、また一定時間において換気を行うなど感染対策に留意しながら実施しました。

労働教育事業として、YouTube 配信型の労働セミナーを実施し、年間通して1,000回以上の閲覧がありました。

また、令和5年度新規自主事業運営チームにて「LaLa マルシェ」を新しく企画し、開催に向けてチーム内会議を実施し、チラシデザインの作成や市内で実施されているイベントを視察するなど、出店者の確保や主催者との情報共有を行いました。

イ. 後援・共催事業

令和4年度の後援予定事業は、全て取消となりました。

《第7表の1》 自主企画事業の事業数と利用者の推移

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事業数	8	7	1	1	1
参加者数(人)	2,438	1,640	8	10	15

《第7表の2》 自主事業実績

(単位：円)

番号	事業名及び実施日	参加者 (名)	事業収支状況		
			収入	支出	内会場費
1	手話教室(入門講座) 令和4年10月14日～12月16日(10回)	15	75,000	226,191	142,340
2	労働セミナー(YouTube 配信) 令和4年7月11日～3月29日(年7回)			36,000	
3	令和5年度 新規自主事業立ち上げ 「LaLa マルシェ」(年2回:夏・冬)			90,408	
	合 計	15	75,000	352,599	142,340

《第7表の3》 令和5年度新規自主事業立ち上げに係る実績

番号	内 容	備 考(実施日等)
1	担当者会議	令和4年7月～3月(必要時、随時実施)
2	チラシデザイン作成	イラストレーターへの検索、依頼、完成
3	視察(出店者確保、主催者との情報共有)	令和4年11月～3月(18回) 主な視察場所:みやこめっせ、岡崎公園等

(3) フィットネス事業

京都テルサフィットネスクラブの事業実績は《第8表》のとおりで、令和4年度は年度当初から健康二次被害予防の風潮を追い風に、コロナ禍の運動不足を解消するために日常の健康づくりが見直されるも、徐々に社会情勢の影響を受けた物価高が消費を抑える傾向に推移する厳しい状況になりましたが、令和4年度末で閉鎖となる類似施設の利用者受け入れについて京都市から要請があり、特別入会キャンペーンを行うなど積極的に協力を行ったこともあり、昨年度に引き続き登録会員数も、年間利用者数も増加しました。

10月より新規入会は、利用料を月会費にインクルーズした会員設定のみとなりましたが、大きな入会者減にもならず、円滑に移行することができました。

《第8表》 フィットネス事業実績の推移

事 項			29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度		
クラブ会員	個人	年度内 動 向	入会	人	617	746	561	526	468	544
			退会	人	663	756	954	914	371	491
			差引増減	人	△46	△10	△393	△388	97	53
		年度末会員	人	2,512	2,502	2,109	1,721	1,818	1,871	
		フルタイム	人	1,361	1,393	1,210	1,014	1,050	1,097	
		デイトタイム	人	693	681	555	425	458	461	
		ホリデイ	人	458	428	344	229	239	220	
		スチューデント	人						16	
	スカッシュ	人				53	71	77		
	法人	年度内 動 向	入会	口	0	0	0	0	1	0
			退会	口	0	0	0	2	3	0
			差引増減	口	0	0	0	△2	△2	0
		年度末会員	口	17	17	15	13	11	11	
	施設 利用 数	利用者	フルタイム	人	156,191	157,343	150,966	114,529	115,550	127,140
デイトタイム			人	56,094	54,146	51,227	33,192	38,112	39,822	
ホリデイ			人	17,815	16,702	15,872	10,033	10,889	13,308	
小計			人	230,101	228,282	218,065	157,754	164,551	180,270	
スカッシュスクール		人				1,481	4,760	5,194		
法人会員		人	7,371	7,801	6,952	2,669	3,767	3,144		
ビジター		人	1,033	900	861	420	285	598		
スカッシュ		人	3,266	3,601	3,990	4,225	3,881	4,224		
合 計		人	241,771	240,584	229,868	166,549	177,244	193,430		
一日平均利用者		人	785	781	746	617	621	632		
収 入	施設 利用 収入	入会金	千円	744	604	937	653	621	813	
		会 費	千円	173,982	172,990	171,812	111,182	118,330	135,810	
		利用料他	千円	75,909	71,384	68,332	37,494	44,565	52,298	
		小 計	千円	250,635	244,978	241,081	149,329	163,516	188,291	
	物品販売収入	千円	6,379	5,958	4,546	3,697	4,694	5,090		
	その他の収入	千円	12,447	10,523	10,754	1,063	7,600	5,511		
	合 計	千円	269,461	261,459	256,381	154,089	175,810	193,922		

ア. クラブ会員数

会員数において、令和4年度は総入会者数が544名（3年度468名）退会者数は491名（3年度371名）となりました。入会者数は前年度比76名増も、退会者数は同比120名の増加となり、令和4年度末登録会員数は年度当初から53名増となり、1,871名となりました。

年度当初の4月から健康二次被害予防の風潮を追い風に、コロナ禍の運動不足を解消するために日常の健康づくりが見直され、上半期は新規入会者が増える結果（上半期99名増）となりましたが、徐々に社会

情勢の影響を受けた物価高が消費を抑える傾向が顕著となり、上半期増加分を下半期でやや減少させるという結果(下半期-46名)となりました。年度末の個人会員数は+53名にとどまりましたが、昨年度に引き続き登録会員数を増やすことができました。

また、法人会員数については、11口を維持することができました。

さらに、個人会員の年齢構成は、《第10表》のとおり、高齢者の占める割合がさらに進み、60歳代以上が全体の57.8%を占め、さらに70歳以上が、33.3%を占める結果となりました。

コロナ禍での日常生活における運動量低下による健康二次被害が深刻化するなか、特に高齢者の「健康リテラシー」への関心が高まっていることを示唆し、近隣南区在住の登録者が増加したのは、高齢者が近隣の施設での利用を望むことを表していると思われます。

一方で、京都市内遠隔区登録者が増加した結果は、プロモーションによる効果と、ホリデイおよびスチューデント会員（R4年度10月新設）が増えたことによると推察できます。

《第9表》 フィットネスクラブ個人会員の年代別構成比の推移 (単位：%)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	人数
10歳代	0.6	0.6	0.5	0.6	0.4	1.1	21
20歳代	7.5	7.2	5.5	3.9	4.9	6.6	124
30歳代	8.5	8.3	7.0	5.9	5.9	5.9	110
40歳代	14.6	14.0	12.3	10.5	10.1	9.2	172
50歳代	20.3	19.5	19.4	20.0	17.9	19.4	363
60歳代	24.8	24.8	25.8	26.3	25.6	24.5	458
70歳以上	23.8	25.8	29.5	32.8	35.2	33.3	623

《第10表》 フィットネスクラブ個人会員の住所地分布構成比の推移 (単位：%)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	人数(人)
京都市内	89.9	90.0	89.2	91.7	92.1	91.0	1702
南区	37.3	39.7	40.5	43.4	40.8	41.4	774
隣接区*1	37.8	36.4	35.5	35.6	37.0	34.6	648
遠隔区*2	13.8	13.9	13.4	12.7	14.3	15.0	280
京都府内	6.6	6.6	6.9	5.5	5.4	6.1	114
他府県	3.5	3.4	3.9	2.8	2.5	2.9	55

【注】*1：「隣接区」＝下京区、東山区、伏見区

*2：「遠隔区」＝南区と「隣接区」を除く各区

イ. 利用者数

利用者数において、新型コロナウイルスの影響による臨時休業や時短営業で、総利用者数は194,430名で一日平均632名の利用数となりました。

会員種別別の利用者数は前年度と比較して全ての種別で増加しました。特に、利用料込みとなったホリデイ新会員が、少ない利用可能日に活発に利用したものと推察される。スカッシュについては、スカッシュスクール会員の利用が多く、コート利用の年間平均利用率は約70%になりました。

《第11表》 フィットネス会員の年間平均利用回数

(単位：回)

区分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
個人会員 (1人当たり)	フルタイム	114.8	113.0	124.8	112.9	115.8	116.1
	デイトタイム	80.9	79.5	92.3	78.1	84.1	84.0
	ホリデイ	38.9	39.0	46.0	43.8	46.1	54.6
法人会員(1口当たり)		433.6	458.9	463.4	205.3	294.4	285.8

ウ. 事業収入

会費収入・利用料収入は、会員数、利用者数の増加により、フィットネスの売上は増加となりました。

会費収入は、今年度は1億3,518万円、利用料収入は5,298万円となり、フィットネス総収入としては、1億8,829万円となりました。

(4) 事務所等賃貸事業

令和4年度は入居団体で以下の変更があったため、賃借エリアは一部減少しました。

- ・東館スポーツセンター内のスポーツ医科学・相談室が機能集中のため退去（令和4年7月）
- ・同東館スポーツ医科学・相談室のあと京都府国際センターが新規入居（令和4年10月開所）
- ・西館3階第1研修室のジョブパークの適職・発見コーナーが退去され、会議室利用を再開

京都府国際センターの新規入居に伴い、事務所賃貸料は増加となりました。また、下表の共益費分担金には、入居団体が使用された電気料金、電話料金等が含まれています。

入居団体の光熱費については、電気料金はメーターで計量分を、ガス料金・水道料金は共益費に含まれる形で請求しています。令和4年度は、テルサが契約している電気料金、ガス料金とも大幅に値上がりしていましたが、入居団体への請求単価は据え置いています。これは電気、ガス共に単価が高騰した状態が続く中、入居団体の光熱水費の見直しについて京都府と協議を重ね、令和5年度までは京都府から財政支援を行う方向が示されたことによるものであり、今後も、京都府と協議を行い、しかるべき機会に対処していきたいと考えています。

自動販売機はテルサホール改修に伴う来館者の減少に加えて自動販売機の台数も減り、売上は減少となりました。

《第12表》 事務所等賃貸事業収入の推移

事 項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事務所賃貸料	千円	7,134	8,311	8,387	8,387	14,953
共益費分担金	千円	114,764	111,866	113,123	113,147	115,268
自動販売機営業料	千円	5,370	5,087	2,968	3,109	2,636
公衆電話設置	千円	1	1	1	1	1
そ の 他	千円	2,254	32	38	29	8
合 計	千円	129,523	125,297	124,517	124,674	132,866
当初予算	千円	129,809	130,487	126,319	124,357	129,772

(5) 駐車場事業

令和4年度は3年度と比較すると、コロナ禍での影響は最小限に留まったものの、テルサホール天井改修工事のため、ホールが11ヶ月休館となり、利用者数が大きく減少したため、地下駐車場収入は減少しています。今年度は満車状況になることはありませんでした。

屋外バス駐車場については、観光などが回復傾向にあり収益増となっています。ただし、安定した収入源であった定期高速バスの利用ははまだ再開されていません。その他は検診車や大型トラックなどの利用があったため、昨年よりも上向いています。また、利用者の利便性を考慮し、屋外バスWEB予約を導入し安定した予約状況となりました。

無料で使用できる自転車、バイクの駐輪場の利用状況は、満車になる日はありませんでした。

《第13表》 駐車場事業実績の推移

事 項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
利 用 台 数	駐車延台数	台	149,350	137,144	98,322	109,014	115,415
	1日平均	台	418	383	275	305	322
	夜間割引	台	2,211	1,579	899	594	1,179

事 項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
利 用 収 入	地下駐車場	千円	40,211	39,447	22,077	25,514	22,801
	屋外駐車場	千円	10,596	9,991	2,069	3,354	5,235
	契約利用	千円	4,018	4,343	3,803	3,346	3,034
	合 計	千円	54,825	53,781	27,949	32,214	31,070
	当初予算	千円	53,160	54,193	54,300	44,465	24,056

(6) レストラン事業

令和4年度は、懸案事項であったコロナ禍により休店しているレストランの運営者を、プロポーザル方式により公募しましたが、応募者がなく、条件を見直して実施した2度目の入札において、カフェラウンジを運営しているサイバーライン株式会社が運営者として決定いたしました。令和5年4月からの再開を目指し、リニューアル改修を行うなど準備を進め、新しく「うどんダイニング凜」として営業開始いたします。同社が運営することにより館内飲食の連携強化や内容の充実、併せてテルサホール再開も重なるためパーティーやケータリングへの対応など準備を進めてまいります。

カフェラウンジ凜は平成27年度から社会福祉法人全国手話研修センターとサイバーライン株式会社に委託し、障害者雇用の創出を目的とした障害者継続支援A型事業として運営を行っています。レストラン休店中は受け皿となり、ホール休館が多少影響したものの、食事利用が増え好調に推移しています。利用者の定着等で安定して利用があり、昼食利用やケータリング利用が大きく伸びています。

《第14表》 レストラン利用の実績推移

事 項			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
延べ利用者 ※1	朱雀	人	68,325	58,061	8,910	0	0
	ホール	人	25,717	24,973	4,110	0	0
	従業員食堂	人	11,684	11,683	2,599	0	0
	宴会・パーティー	人	9,167	6,888	118	0	0
	ケータリング	人	21,757	14,517	2,083	0	0
	ラウンジ	人	27,861	18,082	11,862	15,208	16,225
	合 計	人	96,186	76,143	20,772	15,208	16,225
営業料対象売上高	朱雀 (ケータリング含む)	千円	33,939	30,894	5,169	0	0
	パーティー	千円	32,058	21,204	357	0	0
	レストラン朱雀 計	千円	65,997	52,098	5,526	0	0
	ラウンジ	千円	16,881	16,491	9,292	13,649	19,541
	合 計	千円	82,878	68,589	14,818	13,649	19,541
	1人平均消費額		862	900	714	897	1,217
収入	レストラン営業料	千円	15,096	12,440	2,193	0	0
	ラウンジ 営業料	千円	2,789	2,827	1,794	2,322	3,194
	合 計	千円	17,885	15,267	3,987	2,322	3,194
	当初予算		17,830	18,360	17,970	7,020	2,822

※1 平成22年度から従業員食堂を開設（営業料対象外）

（7） 京都テルサ緑化維持管理等事業

令和4年度も感染対策に留意しながら緑化活動を実施しました。府民緑化では新町通だけではなく西洞院通の除草作業も行い、きれいにすることができました。毎年行っている凌風学園7年生との植栽活動では、道行く人々の目に楽しんでいただけるように花の苗を植える活動を行いました。また、12月に行ったクリーン作戦では館内団体から22名に参加していただき、テルサ周辺のゴミ拾いを行い美化に取り組むと共に、楽しく和やかな時間を共有することができました。

（8） 大型修繕、中長期修繕計画の推進（京都テルサのアセットマネジメント）

令和2年度にアセットマネジメントの観点から京都府民総合交流プラザ・京都テルサの中長期修繕計画を策定しました。令和4年度に入り、京都府が行う大規模改修のテルサホール天井耐震改修工事は無事行われ、追加工事としてカーペットの更新も行われました。それに伴いホール関係の電気設備、ホールロビーのLED化、控室の改修工事など同時施工を計画的に進めました。

京都テルサは平成8年のオープンから25年以上経過し、施設及び設備機器の劣化、老朽化が進み、配管等の老朽による水漏れ、特に給湯用銅管による水漏れは多数発生し昼夜問わず応急処置に追われる他、外壁の割れによる雨水の浸水など各所において、施設運営に影響する被害が頻発するようになり、計画的に改修を進める時期を迎えています。異音や運転停止を繰り返し、テルサ館内の空調環境に大きな影響を

及ぼす事態となっています。異音や運転停止を繰り返し、テルサ館内の空調環境に大きな影響を及ぼす事態となっている空冷ヒートポンプチラーは令和5年度に京都府において更新いただくこととなっていますが、こうした修繕費用の増加と交換周期を迎える機器の更新費用の高額化が大きな課題となっている中、府民の施設利用に対するニーズもオープン時より多様化し、今後は、施設の持つ機能の充実や選別がより一層求められていることから、施設の適切な維持管理や長寿命化のために、京都府と協議しながら必要な修繕計画を引き続き要望してまいります。

3 令和4年度京都府男女共同参画センター さら京都の管理運営

性別による固定的な役割分担意識を始めとする課題は依然として根強く残っており、この間のコロナ禍により一層顕在化することになりました。新型コロナウイルス感染症の拡大は特に女性に対し、就業から生活面まで様々な形で深刻な影響を及ぼしており、様々な困難・課題を抱える女性の不安を解消するため、さら京都ではこれまで相談員の増員や相談予約システムの導入など相談体制を強化して対応してきました。令和4年度においても、相談者に寄り添いながら、より相談しやすくなるよう相談時間の延長に取り組むとともに、さらに多くの方からさら京都を知っていただくよう、SNSを活用した広報などに取り組みました。

また、令和4年4月に京都テルサに移転した女性活躍を支援する「京都ウィメンズベース」、雇用を支援する「マザーズジョブカフェ」との連携を強化して女性の複合的な課題に迅速に対応するとともに、生活・雇用不安の解消など個々の希望に添った支援に総合的に取り組みました。

さらに、男女共同参画視点での防災事業については、これまで避難所設営体験講座や災害時女性相談サポーターの養成等を推進してきましたが、これらの取り組みをさらに発展させるため、令和5年1月から府内広域振興局単位で地域防災を担う行政や地域の防災組織、団体等に呼びかけ、「きょうとみんなの防災カード」を使った男女共同参画の視点を学ぶ講座を開催しました。

また、男性育休の取得を促進する研修や令和5年3月には国際女性デーに合わせて、女性の生涯にわたる健康問題への理解を促進（リプロダクティブヘルス）する講座の開催など新たな課題にも積極的に取り組みました。

その他、京都府男女共同参画推進条例やKYOのあけぼのプランに基づき、京都府の男女共同参画施策推進の拠点施設として、起業や再就職、地域での活躍をめざす女性に対する支援を実施するとともに、府内の男女共同参画センター等に対する情報等提供機関として、各種広報媒体の一層の充実に努め、さら京都の発信力の向上に積極的に取り組んでまいりました。

【実施事業】

◆相談事業

(1) 女性のあらゆる悩みの相談

①女性相談

自分自身の生き方、夫婦や親子関係、夫や恋人からの暴力・暴言、家族や近所の人間関係などの相談を実施しました。

※夫や恋人からの暴力を未然に防ぐため、啓発講座を実施しました。

②労働相談

働く女性の待遇や労働条件、職場の人間関係やハラスメント（セクハラ・マタハラ・パワハラ等）、法律や制度、仕事と家庭の両立の仕方など働く女性のための労働相談を実施しました。

※令和3年度職場のハラスメント対策「女性のための特別労働相談」を実施しました。

③女性のためのカウンセリング

性別役割意識や固定観念などにとらわれ悩む女性の心理的サポートを実施しました。

④女性のための法律相談

離婚、財産分与、金銭問題等法律上の問題に、女性弁護士の対応で相談を実施しました。

⑤女性つながりサポート事業

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、仕事、自分自身の生き方、夫婦や親子関係、夫や恋人からの暴力・暴言、家族や近所の人間関係など、様々な困難・課題を抱える女性の相談に対応しました。また、より相談しやすくなるよう、相談時間を延長しました。

さらに、生理用品を必要とする相談者への配布も行いました。

相談件数

(単位：件)

相談種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
女性相談	867	1,122	942	2,243	3,373
労働相談	1,379	1,211	1,360	1,456	875
女性のためのカウンセリング	109	109	81	95	119
女性のための法律相談	73	73	65	75	73
計	2,428	2,515	2,448	3,869 (1,216)	4,440 (2,157)
うち DV相談	6.1%	5.4%	4.2%	3.4%	3.1%

※女性相談は令和3年度女性つながりサポート事業を含む

※（ ） 令和3年8月1日開始～令和4年3月31日女性つながりサポート事業件数

(2) 女性の起業・経営に関する相談

女性の起業・経営の支援のために、中小企業診断士が対応して相談を実施しました。

相談件数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
66件	49件	49件	52件	52件

◆女性活躍支援事業

(1) 女性の起業支援

①女性のためのらら京都創業スクール

創業希望者に対し、創業に必要な財務・税務等の基本的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う創業スクールを開催しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
10回(30時間)	5回(30時間)	5回(30時間)	5回(30時間)	5回(30時間)
延べ109名	延べ50名	延べ52名	延べ39名	延べ83名

②起業をめざす女性の交流サロンCoo-Coo

京都を起点に活躍する起業家等をゲストに迎え女性起業家、起業をめざす女性を対象に情報やノウハウを学ぶとともに交流ができる場を提供しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
10回	10回	10回	10回	10回
延べ85名	延べ112名	延べ111名	延べ101名	延べ89名

③女性起業家支援プロジェクトによる京都テルサ夜間会議室利用

らら京都創業スクール受講者、チャレンジオフィスの入居者、卒業生などを対象に夜間会議室を無料で貸し出しました。

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12回	1回	0回	0回
延べ39名	延べ22名	0名	0名

※平成30年3月から募集開始

④らら京都手づくり市

女性のチャレンジ拠点として、起業やコミュニティビジネスをめざす女性たちの実践とネットワークづくりの場となる手づくり市を開催するとともに、京都テルサ周辺の地域住民との交流を推進しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
10回	8回	9回	9回	12回
139店	128店	149店	135店	157店
3,860名	3,130名	3,090名	2,700名	3,140名

※ 令和3年度 5・8・9月は、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止。

⑤ 女性チャレンジオフィスの運営、活動報告会

- 起業やNPO創業をめざす女性を支援するため、平成17年度にインキュベーションルーム6区画（平成20年度から5区画、利用時間の延長）を設置し、自立支援のため中小企業診断士による女性の起業・経営相談を実施しました。
- 令和4年3月9日に、京都府女性チャレンジオフィス入居者2名の活動報告会を行い、事業内容と活動成果、今後の目標をアピールしました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
5名	5名	2名	2名	2名

(2) 女性の再就職支援

① 京都ジョブパークマザーズジョブカフェとの連携

- 出産や育児等のため仕事を離れた女性への再就職支援として、京都ジョブパークマザーズジョブカフェのパソコン講座など就職支援のセミナーを、ミーティングルームや交流コーナーで開催するなど連携を強めました。
- 女性再就職の相談とDV、女性・労働相談がワンストップ化の期待に応えられるよう連携を図りました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、特に非正規雇用の女性の解雇・離職が増加する中で、京都ジョブパークマザーズジョブカフェに来所した「働きたいのに働けない」、「働くことを仕方なく諦めた」といった方を特定社会保険労務士がサポートしました。

京都ジョブパークマザーズジョブカフェの利用実績（令和4年 稼働293日間）

◆ 延べ利用者数：23,437名……1日平均 80.0名			
《コーナー利用》			
○総合プレ相談、女性再就職	5,871名	○女性再就職	442名
○マザーズ	2,113名	○ひとり親自立支援	853名
《セミナー》			
○女性就職支援セミナー	1,756名		
《その他》			
○電話、メール相談他	8,455名	○検索機利用	865名
○巡回相談	106名（コーナー利用の内数）	○イベント等その他	3,082名
◆ 利用者の特徴			
○年代	20代 11.4%、30代 25.6%、40代 34.6%、		
	50代 22.5%、その他 5.9%		
○就業状況	無職 62.7%、正社員 10.9%、正社員以外 24.5%		
	その他 1.8%		
◆ 就職内定状況			
○正社員	307名	○契約社員	153名
○パート・アルバイト	757名	○派遣・請負等	138名
◆ 保育施設利用状況			
○利用子ども数	490名		

②京都府ひとり親家庭自立支援センターとの連携

- ・無料弁護士相談・・・ひとり親の方に対する養育費の確保・離婚手続きの方法等について、弁護士による無料の法律相談

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
118名	95名	91名	90名	77名

- ・ひとり親等自立支援セミナー等

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,628名	622名	83名	61名	96名

(3) 地域における女性の支援

①KYOのあけぼのフェスティバル

「第34回KYOのあけぼのフェスティバル2022」を、11月22日（火）に「知ることで未来が変わるきっかけに～SDGs～」をテーマに、京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）で開催し、多くの方に御参加いただくことができました。

らら京は、全体の事務局を担当、3年振りにワークショップ、バザールも担当しました。

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
参加者数	1,500名	1,000名	160名	268名	510名	
内 容	30周年記念 シンポジウム ～女性がつな ぐ文化と伝統 新しい京都に ～	「ウィンブル ドン風に誘 われて」	「ダチョウに 魅せられて」	「支援の現場 で学んだ、ひ と・チーム・ 世界の変え方 ～持続可能な 開発目標（S DGs）を使 って、私たち の暮らしと世 界をより良く するために～	「チャンスの 贈与 タンザ ニア商人たち の将来への備 え方」	
	ワークショップ	11	11件	—	—	6件
	バザール	35店舗	21店舗	—	—	23店舗

※令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小での開催（午前のみ）、講演はハイブリッド開催

※令和3年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小での開催（午前のみ）

②ラジオ番組「もっと身近に!～“京”DO参画～」等による地域の女性活動家・団体の紹介

京都府内において地域活動で活躍する方々を紹介し、地域活動を広く周知するとともに、地元の魅力を再発見していただくことを目的として、京都三条ラジオカフェ（京都市）及びFMいかる（綾部市）で「もっと身近に!～“京”do参画～」を放送しました。

また、地域で活躍する女性団体を京都府男女共同参画センターホームページの「京の女性活躍

応援サイト」で紹介しました。

京都三条ラジオカフェ 12団体
FMいかる 6団体

③女性活躍応援塾事業地域塾運営事業（新規）

府内広域振興局単位で災害時女性相談サポーター、行政職員、地域で活動している防災団体、女性団体等を繋げていくネットワークづくり事業を開催しました。

※京都府が公募する「女性活躍応援塾事業 地域塾運営事業」を活用し実施

- ・ 1月29日（日） 中丹広域振興局管内（福知山市・舞鶴市・綾部市）
15名（うち男性 4名）
- ・ 2月16日（木） 山城広域振興局管内（木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村）
12名（うち男性 2名）
- ・ 2月18日（土） 山城広域振興局管内（八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町）
24名（うち男性10名）
- ・ 2月21日（火） 山城広域振興局管内（向日市・長岡京市・久御山町）
9名（うち男性 0名）
- ・ 2月28日（火） 山城広域振興局管内（宇治市・城陽市・久御山町）
25名（うち男性12名）
- ・ 3月 8日（水） 丹後広域振興局管内（宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）
28名（うち男性 3名）
- ・ 3月14日（火） 南丹広域振興局管内（亀岡市・南丹市・京丹波町）
19名（うち男性 9名）

(4) DV防止対策事業

①DV防止啓発講座

暴力を許さない環境づくり、被害者の早期発見及び二次被害の防止等のため、長岡京市及び、向日市及び綾部市の2会場で啓発講座を実施しました。

- ・長岡京市 11月11日（金） 32名（うち男性8名）
「身近なところでDVが起これたら・・・ 私たちにできることは？」
- ・向日市 11月20日（日） 12名（うち男性1名）
「子どもはDVから何を学ぶのか ーもうひとりのDV被害者ー」

②DV被害者自立支援グループワーク（新規）

専門のカウンセラーの援助を受けながら被害者同士が経験や意識を共有することで、DV被害からの心身の回復を支援するとともに立ち直りを促すためのグループワークを福知山市及び京都市で実施しました。

- ・福知山市内 10月18日（火）「これもDVなの？」 2名
- ・京都市内 延べ20名
- 【第1クール】 12月14日（水）「DV ～私が巻き込まれた関係性は？～」
- 12月23日（金）「DVは『私』にどう影響するのか」

- 【第2クール】 1月24日(火) 「これってモラルハラスメント？
～ドメスティック・バイオレンスとは～」
1月31日(火) 「DV被害が対人関係に及ぼす影響」
2月 7日(火) 「これからの自分を考えよう」

③DV防止啓発展示コーナー

DV防止啓発週間11月12日(金)～11月25日(木)にともない、「DV防止啓発展示」を実施しました。

また、京都テルサ中庭にてパープル・ライトアップを実施し、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけました。

(5) その他

①男性支援(新規)

- ・「みんなの育休研修」

男性育休の取得を促進し、女性の育児負担軽減を図ること、改正育児・介護休業法を周知すること、男性育児の促進を図るため、育児において大きな負担となる、授乳・排泄・睡眠の方法を学ぶ。

7月9日(土) 会場：13名 オンライン：10名

②生涯を通じた女性の健康支援

- ・「女性のライフステージと健康」

女性のからだのしくみを知り、特に成熟期から更年期にわたる時期に生じる心身の変化を専門家(産婦人科医)から学び理解する。

3月4日(土) 会場：15名 オンライン：17名

◆男女共同参画の視点での防災支援事業

(1)災害時女性相談サポーター養成講座(9期生)

災害時に増大する女性相談に対応するため、専門相談員と連携して、傾聴や情報提供を担う女性相談サポーターの養成講座(2日間)を実施しました。

- ・10月22日(土) 参加者数 10名
- ・10月29日(土) 参加者数 8名

(2)災害時女性相談サポーター養成講座(1～8期生)フォローアップ

災害時に増大する女性相談に対応するため、専門相談員と連携して、傾聴や情報提供を担うから京都の女性相談サポーター登録者を対象に研修を行い、能力の維持・向上を図りました。

- ・9月12日(月) 北部会場 参加者数 16名
- ・12月17日(土) 南部会場 参加者数 15名

(3)避難所設営体験講座

災害時に男女共同参画の視点が欠落し、住民の生活に支障が生じないように、被災時においても性別に応じたニーズ等の違いに配慮する視点のほか誰もが安心して過ごせる避難所の設営ができるよう、市町村と連携して避難所設営の体験講座等を実施しました。

- ・6月25日(土) 京都子育て応援団 7名(うち男性 4名)

- ・ 6月30日(木) 福知山市連合婦人会 43名(うち男性 1名)
- ・ 7月16日(土) 西の京自主防災会 26名(うち男性11名)
- ・ 10月21日(金) きょうと男女共同参画センター防災事業 15名(うち男性 6名)
- ・ 11月13日(日) 木津川出張所内河川レンジャー 6名(うち男性 3名)
- ・ 11月17日(木) チーム防災OTOKUNI 7名(うち男性 1名)
- ・ 12月17日(土) 木津川出張所内河川レンジャー 8名(うち男性 4名)
- ・ 2月 4日(土) きょうと男女共同参画センター防災事業 27名(うち男性 9名)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6回	7回	3回	10回	8回
272名 (男性36名)	800名 (男性212名)	36名 (男性12名)	207名 (男性37名)	139名 (男性39名)

(4) きょうと男女共同参画センター防災事業(府市連携事業)

令和3年度に作成した「きょうとみんなの防災カード」の使い方を学ぶ「防災ワークショップ」を開催しました。

- ・ 10月21日(金) きょうと男女共同参画センター防災事業 防災ワークショップ
参加者 15名(うち、男性6名)
- ・ 令和5年2月4日(土) 「きょうと男女共同参画センター防災事業(防災ワークショップ)」
参加者 27名(うち、男性9名)

◆事業所内保育所の運営

女性の就労支援と待機児童対策を目的として、京都テルサ東館1階に事業所内保育所「京都テルサ保育園」(企業主導型保育園)を平成29年11月に開所。

入園対象者は、(一財)京都府民総合交流事業団の職員の子又は同事業団と共同利用契約を締結した事業所社員の子「従業員枠」、定員の50%以内を上限として「地域枠」としての入園も可能。

【利用者数】

年齢別/従業員枠・地域枠	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0歳/従業員枠	19	12	6	0	-
0歳/地域枠	39	16	22	10	-
1・2歳/従業員枠	17	36	36	0	-
1・2歳/地域枠	17	46	42	39	-
合計	92	110	106	49	-

※令和4年度末現在、休園中。

◆市町村男女共同参画所管部署・センター等との連携強化

(1) 情報提供事業

① ホームページによる情報発信

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アクセス回数	47,518	39,146	39,223	44,795	45,944
延べ件数	493,010	532,156	571,379	616,174	662,118

※市町村情報の提供含む

② らら京都ニュースの発行

らら京都が実施する取組を紙面に掲載し、府民の方の手に届けられるよう情報発信しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12回	12回	12回	12回	12回

③ メールマガジンによる情報の伝達

着実かつタイムリーに情報を届けるため、メールマガジンの配信をしました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
23回	24回	27回	26回	27回

④ 女性起業通信の発行

女性チャレンジオフィス入居者や起業セミナー修了者、交流サロンCooCo参加者が提供する新商品やサービスなどホットな情報を、ホームページ等で発信する「女性起業通信」を発行しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12回	12回	12回	12回	11回

⑤ SNSによる情報の発信

開催事業や各種情報をタイムリーに提供し、関係機関とのネットワークの構築として発信しました。

【Facebook】

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
136	142	150	65	72

※平成28年度開設

【Twitter】

配信回数 24件 ※令和4年9月開設

【Instagram】

配信回数 38件 ※令和4年9月開設

⑥ 男女共同参画に関する資料等の収集、発信

DV、生き方、就業、NPO等に関する図書や資料並びに府内市町村・都道府県・国等の行政資料を配架しています。

(2) 調査・研究、研修・啓発事業

①女性のための相談ネットワーク会議

女性のための相談窓口を設置している京都府内市町村等の相談機関相互の情報交換や問題解決の場として「女性のための相談ネットワーク会議」を設置し、研修及び事例研究を開催しました。

開催日	場所	テーマ	令和4年度
6月3日(金)	京都テルサ	公的機関の中長期的支援 ２－トラウマ・インフォームド・ケア－	31名 (うち男性3名)
2月9日(木)	京都テルサ	相談活動で出会うトラウマ ～その特徴と対応～	34名 (うち男性1名)

②女性活躍応援塾（つながりサポートコース）（新規）

令和4年度女性活躍支援ワンストップ拠点推進事業（女性つながりサポート事業）において、困難女性への支援に取り組むNPO団体や市町村女性相談担当者等を対象に困難女性への支援のノウハウを学ぶ研修を実施しました。

開催日	場所	テーマ	参加者数
11月30日(水)	京都テルサ	女性相談の実践 ～課題とスーパーヴィジョンの活用～	20名（うちオブザーバー2名）
1月27日(金)	京都テルサ	スーパーヴィジョン ～悩みを抱えた女性をエンパワーするために～	11名（うちオブザーバー1名）

③相談員を対象にした男女共同参画の視点を学ぶ研修

京都ジョブパークマザーズジョブカフェ等と京都府府民環境部男女共同参画課との連携・協働をより深めるために、相談員等に対する男女共同参画の視点を学ぶ研修を実施しました。

（2回実施・10名）

④知っておきたい働くための労働知識（新規）

女性は妊娠・出産や育児、介護などさまざまなライフイベントを経験します。そうした中でも女性が無理なく働き続けられるように、労働者を守る制度について特定社会保険労務士が解説するセミナーを京都ジョブパークマザーズジョブカフェとの共催事業として実施しました。

・1月19日(木) 18名

⑤お出かけナビ(出前講座)・お迎えナビ(視察研修)

男女共同参画に関する広報・啓発のため、らら京都の館長や職員、DV等専門の知識を有する職員等が、主催者からの依頼により講師を務める「お出かけナビ」や、らら京都に迎える「お迎えナビ」を実施しました。

・お出かけナビ 6件・延べ 97名（うち男性 24名）

・お迎えナビ 0件・延べ 0名（うち男性 0名）

⑥京都府内市町村・男女共同参画センターネットワーク会議

府内男女共同参画センター及び市町村男女共同参画担当課の職員が、地域の男女共同参画を積極的に推進するために、必要な学習と実践のノウハウを身につけるための研修を実施するとともに、府内男女共同参画の推進に携わる機関の連携・協力関係の構築を図ることを目的に開催しました。

- ・10月28日（金） 16名（うち男性4名）
- ・情報交換・研修（ZOOM活用講座）

(3) 関係機関・団体との連携

共催事業等

- ・手芸クラブ（ナタリー・ショップ）
- ・いのち奏でるコンサート 花と名曲いのち奏でるコンサート2022 5周年・特別企画
世界女性ディ ミモザに思いを寄せて（京都カルテット）
- ・朗読まつり 心に届けたいことば（おはなしの葉）
- ・パソコンセミナー（京都ジョブパークはあとふるコーナー）

(4) 京都府男女共同参画センターの利用促進

①団体・グループ登録

女性団体・グループ等の活動拠点として、らら京都の利用促進を図るため、団体・グループの登録制度を実施しました。

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録団体	96	95	86	85	79
メールBOX	15	15	15	12	12

②ワーキングルーム等一時使用の部屋の管理

（単位：件、％）

事項	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比
ワーキングルーム	372	331	203	184	360	195.7
ミーティングルーム	221	208	255	208	264	127.0
交流コーナー	648	721	456	363	705	194.2
合計	1,241	1,260	914	755	1,329	176.0

事項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比
8室合計	利用件数（件）	4,928	4,507	2,797	2,774	4,058	146.2
	利用人数（人）	176,947	162,579	87,222	100,009	146,456	146.4
	利用率（％）	59.9	55.2	34.2	35.2	50.7	144.0
	使用料収入（千円）	76,585	70,561	42,692	42,943	65,676	152.9
	1件平均使用料（円）	15,541	15,655	15,263	15,481	16,185	104.5
	1件平均量人数（人）	35.9	36.1	31.2	36.0	36.0	100.0

※8室：第1・第2・第3セミナー室、中会議室、視聴覚研修室、第9会議室、第10会議室、研修室

4 京都府スポーツセンターの公益財団法人京都府スポーツ協会への貸付け

京都府スポーツセンターの施設は当事業団から京都府スポーツ協会に貸し付け、施設を含めた管理統括は事業団が担当するとともに、その会議室の貸付はテルサが窓口となって総合調整に当たっています。テルサ、男女共同参画センターと合わせた、館全体の効率的な管理運用と各センターの協調連携を図っています。

一体運営を行っている貸し会議室の利用状況は以下のとおりです。

スポーツセンター貸館事業の実績推移

事 項		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年度比%	
貸 室	利用件数	件	2,574	2,290	1,457	1,315	1,827	138.9
	利用人数	人	105,311	93,984	53,818	53,604	74,631	139.2
	利用率 (大会議室)	%	65.9	60.7	37.4	35.3	48.9	+13.6
	(D会議室)	%	53.4	43.7	29.0	21.9	36.5	+14.6
	利用料収入	千円	37,585	33,474	21,653	18,708	27,112	144.9